

樹脂ヘッダー（CJヘッダー）専用樹脂バンド取扱説明書

本取扱説明書は、樹脂バンドの取扱い方法を説明するものです。施工の際は、下記を注意深く読み、よく理解して従ってください。

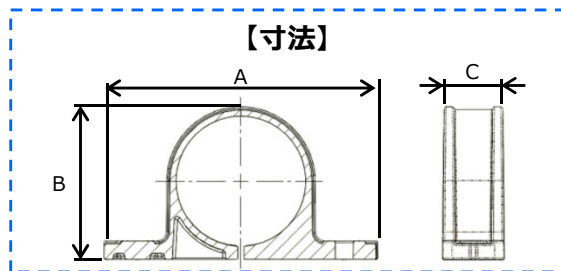
1. サイズ・仕様

■ CJヘッダー専用樹脂バンド

単位：mm

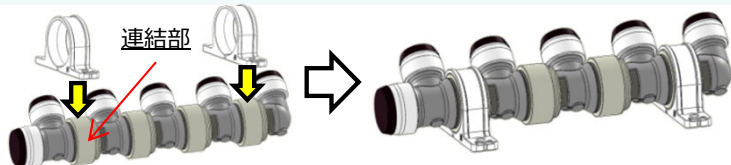
種類	品番	A	B	C	品番	分岐口数	バンド数
保温材無ヘッダー用	CJ-PBC	90	50	20	CJ-PBC	2～5	2
	CJ-PBC-B				CJ-PBC-B	6～8	3
保温材付ヘッダー用	CJ-PBH	103	65.3	20	CJ-PBH	9～11	4
	CJ-PBH-B				CJ-PBH-B	12～14	5

*ビスは含まれませんので、下地条件に合わせたものをご用意ください。

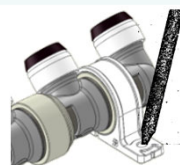


2. 施工方法

① 樹脂バンドをCJヘッダーの連結部（灰色）に留める。



② 樹脂バンド固定位置を下地材に墨出しする。



③ 下穴をあけ、樹脂バンドを下地へビス固定する。



④ 設置完了。（樹脂バンド間の分岐口数3口以内）



- ・ビスは下地条件に合わせたものをご使用ください。（コンクリート下地の場合は、下穴加工の後、Φ4～5×32mmのコンクリートビス（なべ）の使用を推奨します。）
- ・樹脂バンドの間の分岐口数が3口以内になるピッチで固定してください。（固定位置の詳細については、「3. 各分岐口数での樹脂バンド固定位置」を参照してください。）

3. 各分岐口数での樹脂バンド固定位置

（分岐口数）2口（支持個数）2個



（分岐口数）5口（支持個数）2個



（分岐口数）8口（支持個数）3個



（分岐口数）11口（支持個数）4個



（分岐口数）3口（支持個数）2個



（分岐口数）6口（支持個数）3個



（分岐口数）9口（支持個数）4個



（分岐口数）12口（支持個数）5個



（分岐口数）4口（支持個数）2個



（分岐口数）7口（支持個数）3個



（分岐口数）10口（支持個数）4個



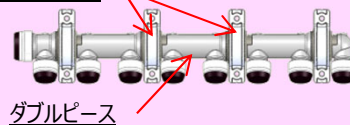
（分岐口数）13口（支持個数）5個



樹脂バンド固定位置設定上の注意

- ・CJヘッダー両端の分岐口の1つ内側を固定してください。ただし、分岐口数が2口の場合は端部と内側を固定してください。
- ・また、樹脂バンドの間の分岐口数が3口以内になるピッチで固定してください。ただし、保温材無ヘッダーにダブルピース（2連ヘッダーピース）が来る場合は、樹脂バンドの間の分岐口数が2口以内になるピッチで固定してください。

樹脂バンド固定位置



4. ご使用上の注意事項

- (1) CJヘッダーおよび樹脂バンドに乗ること、蹴ること、重量物の積載などはしないでください。CJヘッダーが破損する恐れがあります。CJヘッダーおよび樹脂バンドの施工後に、踏まれたり重量物が置かれたりするなどの可能性がある場合は、現場管理者と相談の上、十分な注意喚起と予防措置の実施をしてください。
- (2) ビスの下穴加工やビス固定の際は、CJヘッダーに傷をつけないよう、注意してください。CJヘッダー破損の恐れがあります。
- (3) ガス式鋸打ち機は非対応となりますので、使用しないでください。
- (4) 異物侵入防止のためCJヘッダーのパイプ接続口に取付けられた防塵キャップはパイプ接続直前まで外さないでください。
- (5) CJヘッダーおよび樹脂バンドに防蟻剤や防腐剤などの薬品が掛からないよう注意してください。付着により劣化、損傷する可能性があります。
- (6) 樹脂バンドを必要以上に強く押さえついたり、無理に広げたりしないでください。樹脂バンドが変形し、CJヘッダーを保持できなくなる可能性があります。
- (7) 樹脂バンドを取り外す際には樹脂バンドが変形しないよう注意してください。
- (8) CJヘッダー以外に対して樹脂バンドを使用することや、使用後の樹脂バンドを他の施工現場で再度使用することはしないでください。
- (9) パイプ接続完了後、必ず水压又は気密試験を実施し、接続各部に漏れがないか、必ず目視確認を行ってください。
- (10) CJヘッダーには、プッシュロックⅡのヘッダー部材や継手類、プッシュマスター組立自在樹脂ヘッダー（NJヘッダーピース）は接続できません。必ず、プッシュマスター製品（CJヘッダー分岐継手、CJヘッダー接続継手）のみを使用してください。
- (11) CJヘッダーへのパイプ接続に際しては、当社ウェブサイト掲載の「プッシュマスターカタログ」に記載されている『パイプ接続手順』、『安全上の注意』に従って作業を行ってください。